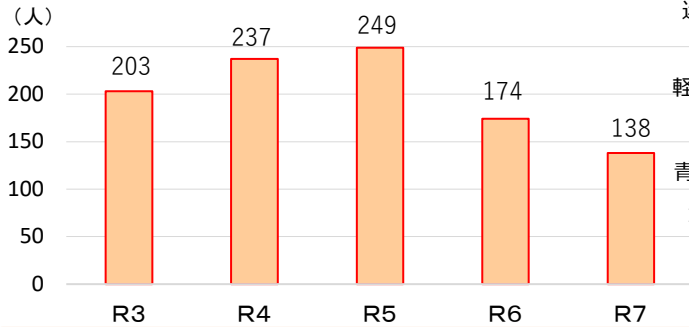
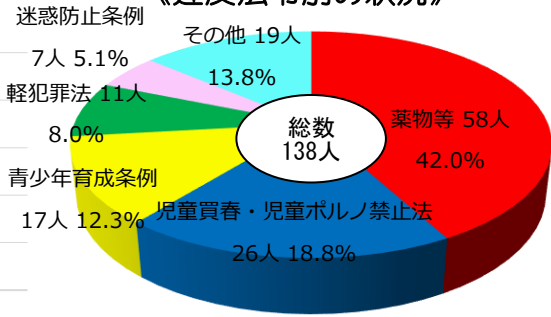


特別法犯少年の検挙状況

《特別法犯少年検挙人員の推移》



《違反法令別の状況》



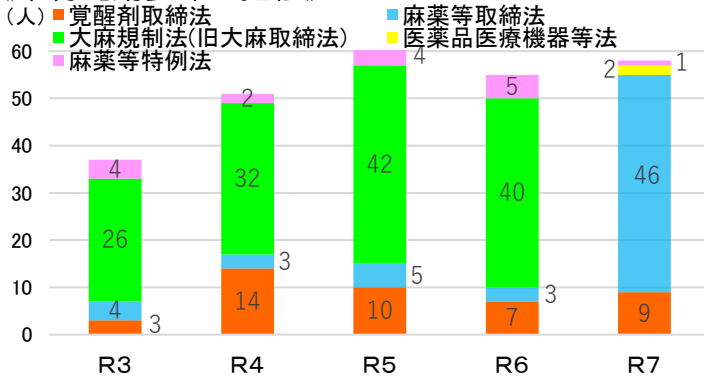
◆ 特別法犯少年の検挙人員は前年と比較して減少

・令和7年中の特別法犯少年の検挙人員は138人(前年比-36人)と減少しています。

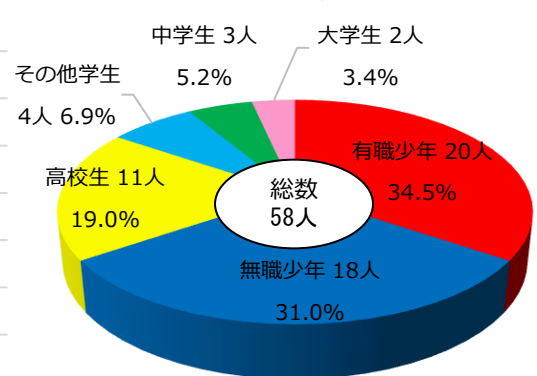
◆ 違反法令別では、薬物事犯が最も多い

・違反法令別では、薬物事犯が58人(同+3人)、児童買春・児童ポルノ禁止法違反が26人(同-19人)などとなっています。

《薬物乱用少年の推移》



《薬物乱用少年の学職別の状況》



※ 薬物乱用少年とは、主たる犯罪が薬物事犯で検挙された少年をいう。

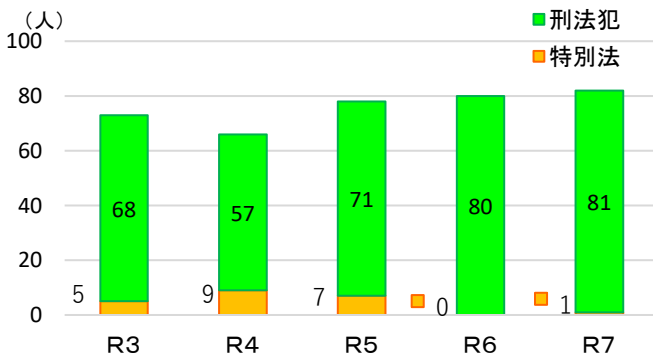
※ R6.12に大麻取締法が大麻規制法に改正。改正後の大麻の所持、施用は麻薬等取締法の適用となっている。

◆ 薬物事犯の検挙人数は前年より増加し、高水準で推移

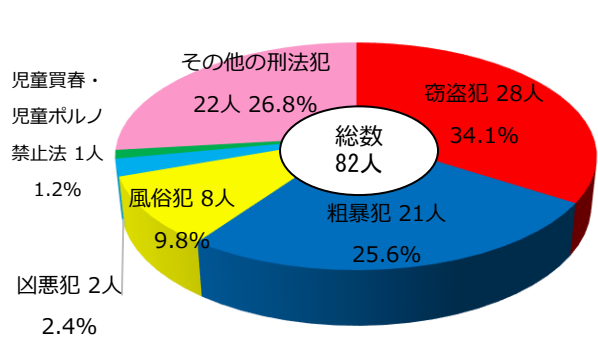
・令和7年中の覚醒剤や大麻などの薬物乱用少年は、58人(前年比+3人)と増加しています。
 ・薬物乱用少年を学職別にみると、有職少年が20人(同-2人)と最も多くなっています。

触法少年の補導状況

《触法少年補導人員の推移》



《罪種別等の状況》



※ 触法少年とは、刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年をいう。

◆ 触法少年の補導人員は3年連続で増加

・令和7年中の触法少年の補導人員は82人(前年比+2人)で、令和5年以降増加に転じています。
 ・罪種別では、窃盗犯が28人(同-14人)で最も多くなっています。